

## 平成28年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人  
ワーカーズ・コレクティブ  
ケアびーくる

### 1 事業の成果

1) 単独では移動が困難な市民が生活の質を高められるよう、市民が持つリソースを発揮して「新しい公共」の一翼を担いました。

参加型福祉の実現と地域に不可欠なサービスの存続を図るため、参加者の拡大に努めました。

NPO である利点を生かして、利用者ニーズに柔軟に対応して移動支援活動を行いました。依頼にはできる限り応え、当日依頼にも可能な限り対応しました。一時期でしたが、施設送迎での対応が困難になった方の毎日の通所や定期的な透析に柔軟に対応しました。毎日ではないものの定期的な通学の利用がありました。昨年度1月から入会金を下げたことや広報に力を入れてきたことなどの結果、新規の利用会員は大幅に伸びました。利用件数も増えました。

- 2名の新たな運転会員の参加がありました。法定の「運転者講習会」を受講し、内部研修を経て1名は常時の活動が始まっています。
- 75歳の誕生日で1名が運転会員を終了しました。階段ヘルプ<sup>®</sup>には引き続き携わっています。運転の担い手不足は引き続き深刻で、ワークの担当決めはぎりぎりのことが多くありました。事務局の慢性的な人手不足も相変わらずで、会員の充足は引き続き大きな課題です。
- 会員は3月末現在41名です。日々の活動の参加者は24名（内、運転会員18名）、セダンの使用車両登録は15台でした。
- 今年度も無事故で1年を終えることができました。

2) 利用しやすい移動サービスを実現するため、大和市・神奈川県・国との協働や他団体・他機関との連携をすすめました。

- 協働事業を開始してから13年目となります。  
協働事業協定書にもとづき、大和市からは引き続き、福祉車駐車場（4台分）およびストレッチャー等の保管場所、負担金の提供を受けました。社会福祉会館の閉館に伴い、1台は市役所駐車場に移りました。
- 毎年の「広報やまと」への掲載のほか、今回初めて、「ボランティア総合案内所」にメンバー募集の情報を提供することができました。
- 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業を引き続き行いました。必要に応じ、

担当課との調整を行っています。

- 市が設置している「大和市地域公共交通会議」にケアびーくるからメンバーが参加しました。
- 介護保険制度の改正に係る生活支援サービスの拡充など、新しい総合事業と移動サービスについての学習会や市内関係施設との意見交換の場に参加しました。
- 市内で開かれた、かながわ福祉移動サービスネットワーク主催の運転者講習会に講師の派遣、車両提供を行いました。
- 地域福祉の充実に関しては、以下の組織やネットワークに引き続き参加し、連携・交流を深めました。
  - ・コミュニティ・オプティマム福祉地域協議会 大和
  - ・神奈川 W.Co 連合会移動サービス部門会議
  - ・NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
  - ・大和市民活動センター

3) ニーズに沿った質の高いサービスが提供できるよう介助研修や共有に努めました。

車両運行における利用会員の「安全と安心」を確保するため、安全運転と適切な運行管理に力を注ぎました。

様々なニーズにきめ細やかに対応できるよう、運行管理者、運転会員で情報共有を図っています。必要に応じ、個別の地域包括ケア会議にも出席しました。利用者の「安全と安心」の確保に努めました。

- 適宜、メンバーが講習会や研修に参加し、日頃のワークに生かしました。(安全運転講習会、学習会等)
- かながわ福祉移動サービスネットワークに講師を依頼し、メンバーが乗り合っの運転者講習会を行い、改めて安全運転の確認をする良い機会となりました。
- 冬季の安全確保のため、福祉車 2 台（新キャラバン、ハイエース）にスタッドレスタイヤを装着し、雪の日対策を行いました。
- 新たな 2 名の運転会員のため、同乗研修をはじめ内部の研修を進めました。必要に応じ、ストレッチャーの扱い、福祉車両の車いす固定操作の再確認等の研修を個別対応で行いました。
- 毎月の定例会で、より良いサービス提供に向けて情報交換を行い、きめ細やかなサービス提供ができるよう努めました。受講した安全運転研修の内容や「ヒヤリハット」の共有も図りました。
- インフルエンザやその他の感染症対策として引き続き、各車両にアルコール消毒液を備え、サービス終了時の消毒を行いました。エチケット袋も備えました。
- 運行管理は日ごろから連絡を密にとり、正確かつきめ細やかな対応ができるよう努めました。

#### 4) 今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

日々の活動に追われながらも、今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

- 大和市指定 NPO 法人となるための手続きをし、12月28日付で条例指定されました。
- 11年経ったキャラバンの故障が増えてきました。来年以降の更新を視野に入れ、必要な整備を行いました。
- 来年度に向け、複数の助成事業に応募しました。2か所からの助成事業が決まっています。また、今年度も W.Co 想より寄付を頂きました。
- 利用拡大とメンバー募集を視野に、「ケアびーくる通信」の発行に新たに取り組み、2回発行しました。会員や関係事業所などに配布・郵送しました。
- メンバーが常時、新しい仲間づくりに気を配るよう心がけました。また、市役所掲示板や福祉車に、常時、メンバー募集のポスターを掲示しています。
- 時宜を捉え、リーフレットやチラシを配布しながらケアびーくるの活動をアピールし、利用拡大とメンバーのお誘いに努めました。
- 年間を通じて経費削減に努めました。
- 中・長期計画は随時見直しました。

#### 5) 毎日の定期メールで情報を共有し、こまめな情報交換と問題解決に努めました。

- 理事会と定例会を毎月開催しました。定例会はメンバー相互の情報交換の場とし、日々の問題点を共有するとともに、解決に向け話し合いました。
- 定例会の議事録をメールで活動会員全員に送信し情報の提供を行い、共有化を図っています。

#### 6) 地域への情報提供をおこないました。

- ホームページの充実、ブログ更新に努めました。  
(ブログ更新：17回)
- 朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに広告を掲載して頂きました。(6回)
- FM やまとの「スマイル (街ナカ☆ハッピーレポート)」にゲスト出演しました。
- 神奈川県暮らし県民部「かながわチャリティアクション・キャンペーン」の認定市民レポーター (大学生) の取材を受け、活動を的確に捉えた好意的な紹介記事が掲載されました。
- 大和市指定 NPO 法人の指定を受けた時には、タウンニュースに記事として取り上げられました。

## 2 事業内容

### 特定非営利活動に係る事業

#### ① 外出介助等のサービス事業

##### ア ケア事業

- ・内容 通院入退院、通所通学、買い物等の外出介助および付き添いサービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 24人
- ・対象者 移動制約者 220人
- ・支出額 8,306,919円

##### イ 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業

- ・内容 大和市福祉車両所施事業対象者における外出介助及び付添サービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 24人
- ・対象者 移動制約者 62人（のべ利用者555人）
- ・支出額 2,174,173円

#### ② 地域に向けて研修、啓発をはかる事業

- ア・内容 ホームページの充実、ブログ更新（年17回）  
新聞折り込みチラシへの広告掲載（年6回）  
FMやまとゲスト出演（1回）

- ・日時 随時
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 移動サービスを受けたことのない方および、そのご家族
- ・支出額 38,809円

- イ・内容 市内で開かれた、かながわ福祉移動サービスネットワーク主催の運転者講習会に講師の派遣、車両提供

- ・日時 平成28年5月
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 2人
- ・対象者 運転者講習受講者 50人
- ・支出額 0円

#### ③ その他、この会の目的を達成するために必要な事業